

2021年4月19日

あおぞら投信株式会社

「ラウンド後の 練習こそが 次の日へ 準備万端 ひできの力」

松山英樹選手は、日本人として、そしてアジアの選手として、男子ゴルフ史上初の海外メジャー大会制覇をマスターズで果たしました。アマチュアとして初出場した2011年から10回連続出場での初優勝です。29歳という若さで、日本人として、そしてアジアの選手としてのマスターズ初優勝は大きな意味を持つと思います。これまでのマスターズ最年少優勝は1997年タイガー・ウッズの21歳3ヶ月、そしてアマチュアとして出場した時にローアマ(アマチュア選手最高成績)とプロでの優勝を果たしたのは、ジャック・ニクラウス、タイガー・ウッズ、フィル・ミケルソンらに続く6人目の快挙です。

松山選手は2011年の東日本大震災直後に19歳でマスターズに出場してから気持ちが変わったと述べています。プレイの結果責任のすべてをひとりで受け止めるゴルフという競技の中で、ひとりの力だけではない何かを感じたのかもしれません。その意味では、直前のマスターズ開催の女子アマチュアで優勝した17歳の梶谷翼選手の今後も、若者の活躍として大いに楽しみです。女子のメジャー制覇は2019年、20歳で渋野日向子選手が全英女子オープン優勝を果たしましたが、この偉業は、1977年の全米女子プロで31歳の樋口久子選手が優勝した時から42年を経ています。今回の男子の優勝は、私の記憶にも残る1980年全米オープンで38歳の青木功選手がニクラウス選手と死闘を演じてから41年を経ての偉業です。アメリカのゴルフ関係者たちが、マスターズでのアジア人の優勝を今後のゴルフ界にとってプラスだと発言していることも、時代の反映ではないでしょうか。40年という時間軸、そして今大会で松山選手がホールアウト後に笑顔を浮かべていた理由が、ミスを許せるようになったからという発言、そして優勝した松山選手を支えた早藤キャディのピンを戻した後のコースへの一礼と、何が大切かを示してくれたチーム松山に感謝したいと思います。そして、『才能は有限、努力は無限』を実現した松山英樹選手！心からおめでとう！！

柳谷俊郎

日本ゴルフ界のメモリー

名前	生年	略歴	国内外ツアー 通算勝利
樋口 久子	1945年	1977年全米女子プロ優勝。アジア出身選手として男女通じて初のメジャー選手権優勝	日本 69勝 米国 3勝 (海外メジャー 1勝) その他 5勝
岡本 綾子	1951年	1987年アメリカ人以外で初のLPGAツアー賞金女王	日本 44勝 (国内メジャー 7勝) 米国 17勝 その他 1勝
青木 功	1942年	1983年日本人初のPGAツアー優勝	日本 51勝 (国内メジャー 13勝) 米国 1勝
尾崎 将司	1947年	ツアー制以前を含めた通算優勝回数113回 = 世界プロツアー最多記録	日本 94勝 (国内メジャー 16勝)

出所：各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>